



① 計画の基本理念、基本方針

基本理念「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」

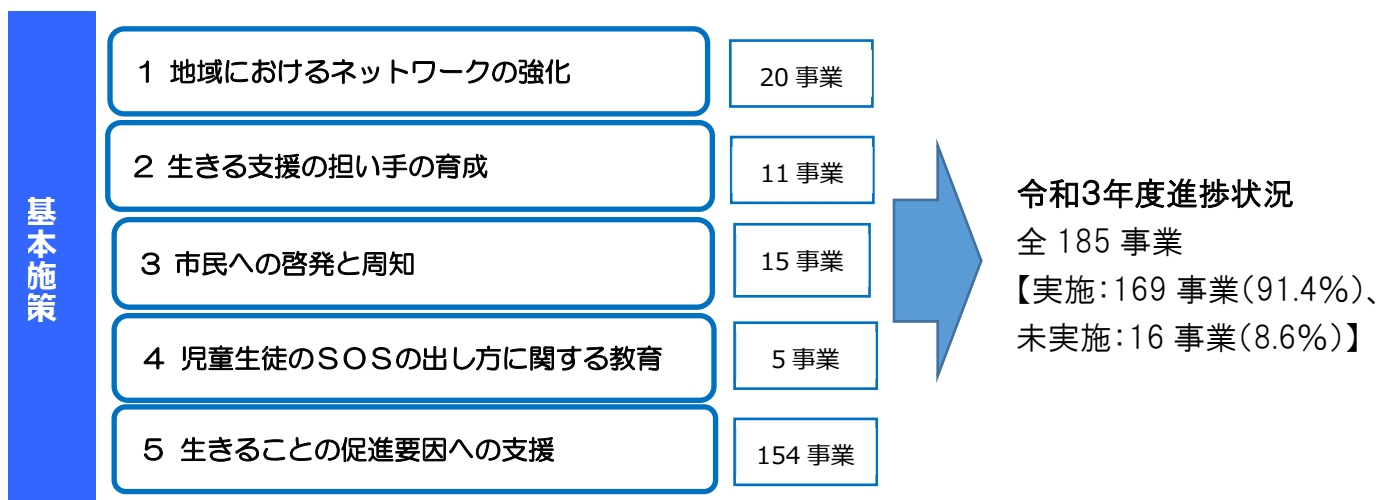
【基本方針】

- 1 生きることの包括的な支援として推進する
- 2 関連施策との有機的な連携を強化して総合的に取り組む
- 3 対応の段階に応じた対策を効果的に連動させる
- 4 実践と啓発を両輪として推進する
- 5 行政、関係団体、民間団体、企業及び市民の役割を明確化し、その連携・協働を推進する

② 計画の体系 生きる支援の関連施策

令和3年度の関連施策実施状況は、全185事業のうち、169事業が実施、16事業が未実施でした。未実施の理由のほとんどが、コロナ禍による事業の中止又は延期によるものでした。

【生きる支援の関連施策】



③ 数値目標

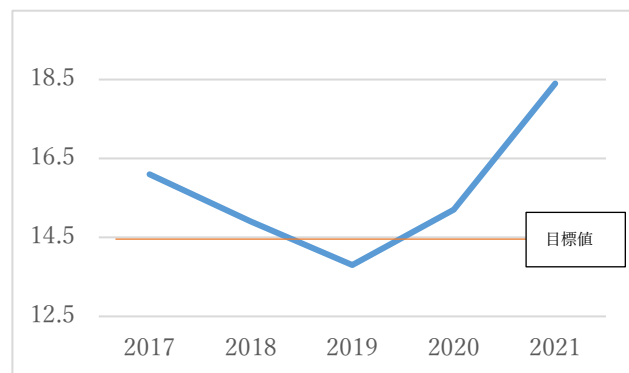
本計画の数値目標と指標については、最終年度に評価をするため、単年度での評価はしませんが、参考値として現状値を示します。

数値目標 (自殺死亡率※)	基準値	目標値
	2017年	2023年
安城市	16.1	14.5以下

※人口10万人あたりの死亡数

(参考) 自殺死亡率の現状値 自殺死亡率

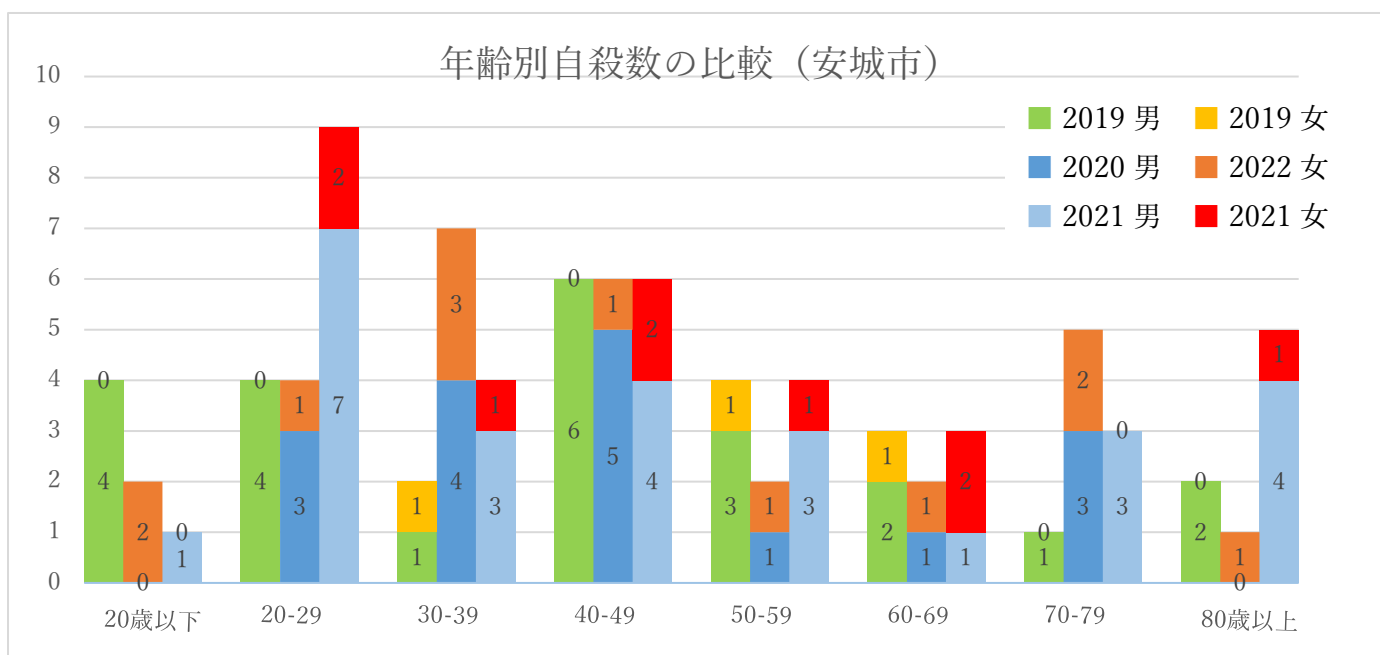
	2017	2018	2019	2020	2021
全国	16.5	16.2	15.7	16.4	16.4
愛知県	15.5	14.4	14.7	16.0	15.9
安城市	16.1 (30人)	14.9 (28人)	13.8 (26人)	15.2 (29人)	18.4 (35人)



④ 指標

指標	基準値(2017年度)	参考)2021年度	目標値(2023年度)
K6ハイリスク該当者の割合	15.9	—	14.4
ゲートキーパー養成研修の受講者数	43人	延 1,330人	延 830人
高齢者の孤立防止のための地域参加の促進 (月1回以上開催されているサロン実施箇所数)	127箇所	195箇所	150箇所
「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合 (愛知県を100とした場合の指数)	小学生 97 中学生 92	小学生 97 中学生 99	小学生 100 中学生 96

⑤ 2021年の特徴



2021年は、前年に問題となった女性の自殺者の増加は止まり、男女差はコロナ前の状況に戻ったといわれています。安城市でも女性の自殺率は2021年と比較すると少なくなりましたが、コロナ前よりは高いといえます。

2021年の特徴としては、全国や愛知県では自殺者は減少傾向となったが、安城市では過去5年間で最も自殺者数が増え、特に20歳代と80歳以上の自殺者が多かったことがあげられます。

・安城市の自殺の特徴 (2014年～2020年計)

上位5区分	自殺者数 5年計	割合
1位:男性 40～59歳有職同居	24	17.1%
2位:男性 60歳以上無職同居	13	9.3%
3位:女性 60歳以上無職同居	11	7.9%
4位:男性 40～59歳有職独居	9	6.4%
5位:男性 20～39歳有職独居	9	6.4%

2020年までの安城市の自殺の特徴として、働く世代(40～59歳)の男性が最も多くなっています。経済的危機の影響を受けやすい世代とも言えるので、今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響によってはこれらの人達への影響も懸念されます。